



建設中の大阪ガス(株)泉北第1工場5号タンク(堺市)に採用された7%ニッケル鋼板。内容量23万m³の世界最大級のLNGタンクで、同製品を約3,800トン使用

世界最大規模のLNGタンクに7%ニッケル鋼板が採用

新日鉄住金が開発した「LNGタンク用7%ニッケル鋼板」が、現在建設中の世界最大規模のLNGタンクに採用されています。7%ニッケル鋼板はLNGタンク用鋼板として約半世紀ぶりの新規格となる製品です。

世界初となる開発・実用化が日本ガス協会より評価され、2013年度の「技術大賞」を、鉄鋼メーカーとして初めて受賞しました(実用化に向け共同研究を行ったトヨコーカネツ(株)と共同受賞)。

強度1.2ギガパスカル級ハイテン 国内自動車に初採用



©スズキ(株)

新日鉄住金が開発した、自動車骨格部品に適用可能な強度1・2ギガパスカル級合金化溶融亜鉛めっきハイテン(高張力鋼板)が、スズキ(株)の新型軽自動車「スベシア」(2013年3月発売開始)の主要骨格部品であるフロアサイドメンバーに採用されました。

国内自動車メーカーに1・2ギガパスカルめっきハイテンが採用されるのは初めてです。新日鉄住金は、自動車の衝突安全性の向上と軽量化に一層貢献していきます。

スーパー13クロムステンレス鋼管 耐腐食性能をシエル社と証明



新日鉄住金はロイヤル・ダッチ・シエル社と共同で、当社開発のパイプライン用スーパー13クロムステンレス鋼管の耐腐食性能を証明しました。同製品の優れた耐腐食性能が証明されたことにより、今後過酷な環境下での石油・ガス開発で、同製品の普及が一層進むことが期待されます。



次世代コークス製造技術 名古屋製鉄所第5コークス炉 が竣工

6月18日、名古屋製鉄所で次世代コークス製造技術(SCOPE21)を導入した第5コークス炉が竣工しました。2008年5月に大分製鉄所で、世界初の実機第1号プラントが竣工しており、今回が第2号プラントです。SCOPE21は鉄鋼業を取り巻く資源・エネルギー問題への対応力強化などを目的に、経済産業省管轄の国家プロジェクトとして開発された技術です。低品位原料炭使用比率の一層の拡大と大幅な省エネルギーをさらに推進していきます。



インド自動車用鋼管事業 NPIが本格生産を開始

新日鐵住金および当社の連結子会社であるサイアム・ニッポン・スチール・パイプ(SNP)が出資するニッポン・スチール・パイプ・インディア(NPI)は、2012年1月にSNPから素管の供給を受け、切断・熱処理などの鋼管加工を開始。その後計画通り2012年末に造管および伸管設備の設置を完了、2013年1月に造管から伸管・熱処理・加工に至る一貫製造体制を構築し、6月から本格生産を開始しました。

メキシコ自動車用鋼管事業 NPMが営業運転を開始

新日鐵住金、住友鋼管(株)、住友商事(株)、(株)メタルワンの4社が出資するニッポン・スチール・パイプ・メキシコ(NPM)は、2013年5月末にすべての工場建設および試運転を完了し、計画通り営業運転を開始しました。NPMは今後当地における自動車用鋼管の中核拠点として、日系および欧米系自動車メーカー、自動車部品メーカー各社へ高精度・高品質の製品を安定供給し、サービスの拡充を図っていきます。



震災復旧・復興を テーマとした建設技術展 「EE東北'13」に出展

新日鐵住金グループは6月5〜6日、国土交通省東北地方整備局主催の「EE(Engineering Exhibition)東北'13」に出展しました。展示会のテーマは昨年引き続き、復旧・復興、建設、維持管理、防災安全の4つの技術分野で、300社近い企業が出展しました。当社グループは、これまでの被災地での実績や今後の復興に向けた商品・技術を多数紹介。ブースには延べ1万2000人の来場者があり、大変注目を集めました。